

10月1日（水）神無月

10月は昔からの言い方では、
「神無月」です。神様が無くなる月と
書きます。どんな意味なのでしょう。

日本中の神様が、普段いらっしゃる
ところを留守にして、ある場所に
集まるからということです。ある場所

とは、島根県の出雲地方です。だからこの地方では、10月
を「神在月」と呼んでいます。

昔の人は、神様が風に乗って出雲地方に向かうと考えて
いました。そのために「神渡し」「神立風」「神送り」「神の旅」
など、10月に吹く風には素敵な名前がついています。

神様たちは集まって何を話すのでしょうか。これから
一年間のご縁について会議するといわれています。「ご縁」
とは、結婚や恋愛だけではなく。仕事や趣味、人間関係、
学業、健康などなど、何事も「ご縁」があってこそなのです。

10月、気持ちの良い天気の日、心地よい風が吹いたら、
神様が出雲地方に出発するかもしれませんね。

